

グループ7社で実施～障がい者への接客を学ぶ～ 障がい理解研修開催(神奈川 アリオ橋本)

(株)セブン&アイ・ホールディングス

2019/7/1

7 セブン&アイ HLDGS.

CSR アクション

セブン&アイグループでは、ノーマライゼーションの取り組みを進めています。このたび、神奈川県とのSDGs協定(19年4月締結)の一貫で、グループ従業員の障がい者への理解を深めるために、神奈川県と連携して、外部講師による研修を開催しました。

当日は、アイマスクや車イスを活用しての、障がい者への接客方法の実体験や、障がいの種類・特性などの講義をいただきました。また、神奈川県の「ともに生きるかながわ憲章」に賛同しての取り組みでもあり、当日は黒岩神奈川県知事が視察に来られました。今後も共生社会実現のために一緒に取り組んでいきたい、と出席者にお言葉をいただきました。



イトーヨーカドー
アリオ橋本店 SM
宮永 清隆



・車イス介助の実技演習
狭い通路や段差もあり、多様なシチュエーションで介助方法を学びました



・視覚障がい者への接客演習
アイマスクで見えない人に、シャツやカバンの特徴を分かるように伝えるのに工夫が必要

参加グループ会社(計7社75名)

(株)セブン-イレブン・ジャパン
(株)イトーヨーカ堂
(株)そごう・西武
(株)ヨークマート
(株)赤ちゃん本舗
(株)セブン&アイ・フードシステムズ
(株)セブン&アイ・クリエイイトリンク



関連情報

この取り組みにより、国連で定めたSDGsの
目標 10に貢献しています。

